

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
			○	

事務事業No 757 事業名 道路新設改良事業（大谷地内線等）

分野別目標	4	自然環境と都市基盤が調和した快適なまち
政策	1	道路網の整備
施策	2	生活道路の整備
基本方針	1	道路の新設・改良の推進

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間	～		
事業実施の根拠法令	道路法 道路構造令		
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	道路建設課	且来 明	435-1087
関連課			

〔事業基本情報〕

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他	○		
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		土木費	
	項		道路橋梁費	
	目		道路新設改良費	
	大事業		道路新設改良事業	
事項		道路新設改良事業		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
		○		
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする）ための事業か） 道路の新設及び改良を行うことにより地域住民の日常生活の利便性及び、市民生活の向上を図る。	事業内容 物件補償、用地買収、測量設計、工事ほか			
実施内容	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	出水地内線 大河内大池線ほか2路線 直川54号線 西脇19号線 黒谷黒岩線 大谷地内線 直川田屋線 六十谷地内線 湊61号線	出水地内線 大河内大池線ほか2路線 西脇19号線 大谷地内線 直川田屋線 六十谷地内線 湊61号線 貴志67号線 布施屋地内線 名草71号線	出水地内線 大河内大池線ほか2路線 西脇19号線 大谷地内線 六十谷地内線 貴志67号線 布施屋地内線 名草71号線	出水地内線 大河内大池線ほか2路線 西脇19号線 大谷地内線 六十谷地内線 布施屋地内線 名草71号線	出水地内線 大河内大池線ほか2路線 西脇19号線 大谷地内線 六十谷地内線 布施屋地内線 名草71号線

2 事業コスト

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	154,900	70,268	128,695		218,055		224,050		220,700	
伸び率 (%)	-	-	-16.9%		69.4%		2.7%		-1.5%	
人件費	常勤職員	37,325	38,798	38,798	38,798		38,798		38,798	
	非常勤職員	804	803	803	803		803		803	
	小計	38,129	39,601	39,601	39,601		39,601		39,601	
国庫支出金										
県支出金		9,227								
市債	137,100	53,500	111,200		196,250		201,640		198,630	
その他										
一般財源(税等)	17,800	7,541	17,495		21,805		22,410		22,070	
所要人数	常勤職員	5.03	5.11	5.11	5.11		5.11		5.11	
	非常勤職員	0.38	0.38	0.38	0.38		0.38		0.38	
主な予算内訳	委託料18,804千円、工事請負費82,000千円等									

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	単位	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度					
事業進捗状況(測量等委託、工事等)	単位	千円	全体目標値	876,409	全体目標達成度	462.0%	年度別達成度	35.9%	
	単位	千円	全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度		

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持				
	縮小		○		
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>厳しい財政状況と和歌山市全体の人口が減少傾向にある中、和歌山市全体の事業ニーズは横ばいといえる。また、道路新設を行う場合、より厳しい事業の選択が必要であると共に、効果の検証を十分に行うべきである。そのため、方向性としては縮小せざる得ない。</p>
「見直し」 「改善」案	<p>事業効果の高い路線の選別を行い、事業に優先順位をつけて予算の平準化をしたうえで、緻密な長期計画を策定することが必要である。</p>